

横浜市は「生理の貧困」問題への対応として 多様な主体と連携を図りながら取組を進めます

横浜市では、経済的な理由や様々な要因から生理用品の確保が困難な状況下にある女性・女子の「生理の貧困」問題に対応するため、「防災備蓄品の有効活用」「民間企業と連携したモデル事業の実施」「市立学校での取組強化」などについて、様々な主体と連携しながら取り組めます。

取組1 防災備蓄品の有効活用

市内防災備蓄庫に備蓄している生理用品の一部を、更新に併せて、7月以降に男女共同参画センター（3館）の女性トイレ等で配布するほか、横浜市社会福祉協議会・区社会福祉協議会が実施する生活困窮者支援に関わる窓口相談や事業などで活用します。

また、市立学校における保健指導等にも活用します。（取組3参照）

○活用予定数

1,600 パック（約 35,000 枚）

○活用先

- ・横浜市男女共同参画センター（3館） 100 パック
- ・横浜市社会福祉協議会・区社会福祉協議会 1,200 パック
- ・横浜市立学校（配布先については現在調整中） 300 パック

取組2 民間企業と連携したモデル事業

生理に関する様々な負担の軽減に向けて、オイテル株式会社（裏面参照）と連携したモデル事業を実施します。横浜市庁舎を含む市内3か所で「女性の個室トイレにおける生理用ナプキンの無料提供サービス OiTr（オイテル）」を導入し、「SDGs・ジェンダー平等の実現に向けた機運醸成」を図ります。

さらに今後、横浜駅東口地下街「ポルタ」や本市関連施設、市内大学等への紹介を通じて、同サービスの広がりも後押ししていきます。

【実施場所及び設置時期】

○横浜市役所 1・2階（8月以降）

○アートフォーラムあざみ野

（男女共同参画センター横浜北・横浜市民ギャラリーあざみ野）（8月以降）

○横浜市立大学

金沢八景キャンパス、福浦キャンパス、鶴見キャンパス、舞岡キャンパスを予定

（9月以降）

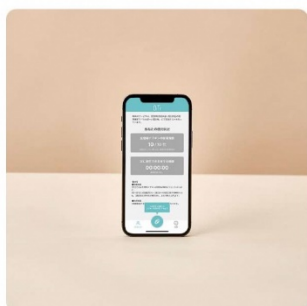
【裏面あり】

【参考】「女性の個室トイレにおける生理用ナプキンの無料提供サービス OiTr」について



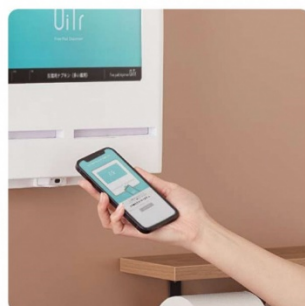
OiTr ご利用の流れ

1. /



OiTr アプリ（無料）をダウンロードし、ユーザー登録します。

2. /



アプリを起動し、スマートフォンをディスペンサーに近づけます。（個室トイレに入ると広告映像が流れます。）

3. /



取り出し口から生理用ナプキンが無料で出てきます。

○連携企業概要

社 名 オイテル株式会社

代 表 者 代表取締役社長 CEO 小村 大一

住 所 東京都品川区旗の台 2-1-19

事業内容 ウェルネス事業

取組3 市立学校での取組

市立学校においては、長年にわたる保健指導の一環として生理用品の貸与や無償提供等を行っています。この取組を継続するとともに、養護教諭を中心に、児童生徒指導の専任教諭やスクールソーシャルワーカーなど組織的な連携を強化し、児童生徒からの相談に適切に対応します。

さらに、今年度は防災備蓄品の活用も図りつつ、現場のニーズ把握を行います。

お問合せ先

(取組1、2について) 政策局男女共同参画推進課長 倉田 真希 Tel 045-671-3691

(市社会福祉協議会・区社会福祉協議会における活用内容について)

横浜市社会福祉協議会地域活動部長 池田 誠司 Tel 045-201-8606

(取組3について) 教育委員会事務局健康教育・食育課長 永井 隆 Tel 045-671-3234